

2. 八王子線

■昨年度との比較

- 昨年度と比較すると全体的に乗車人員は減少しており、10月末現在で昨年度比、八王子方面行：74% (=150/202)、小国支所方面行：40% (=114/284) となっている。小国地域の中心部に向かう方向の減少が著しい。
- 曜日別では、金曜日の利用が多めではあるが、あまり差はない。

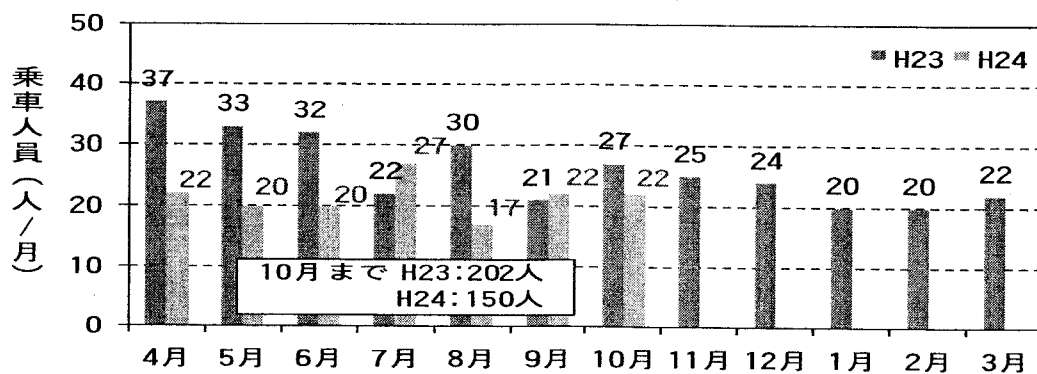


図 乗車人員の変化（八王子方面行）

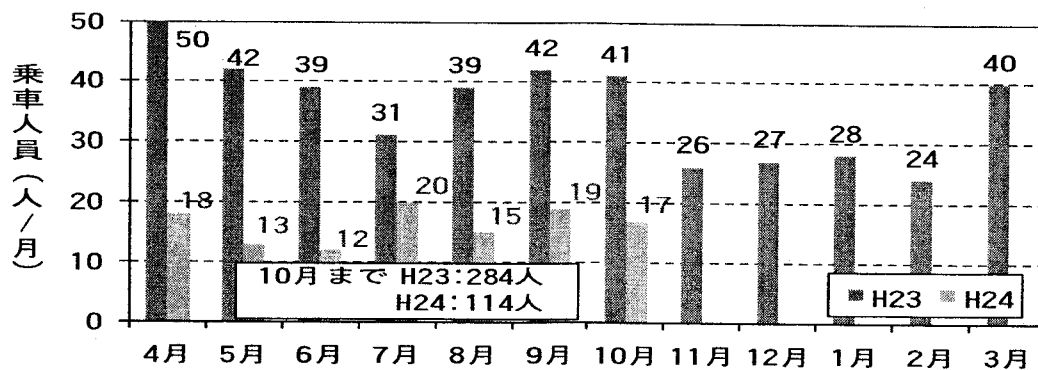


図 乗車人員の変化（小国支所方面行）

3. 法末線

- 10月末現在で昨年度比、法末方面行:116%(=188/162)、小国支所方面行:53%(=129/243)となっている。小国地域の中心部に向かう方向の減少が著しいが、法末方面行は増加している。
- 便別では、特に11時50分発法末行きの利用が多くなっている。昨年度は法末から支所へ向かう便の利用が多かったが、今年度は、逆に法末に向かう便の利用が多い状況となっている。
- 週3回、火・木・土曜日に運行しているが、大貝線と同様に土曜日の利用は少ない。

■昨年度との比較

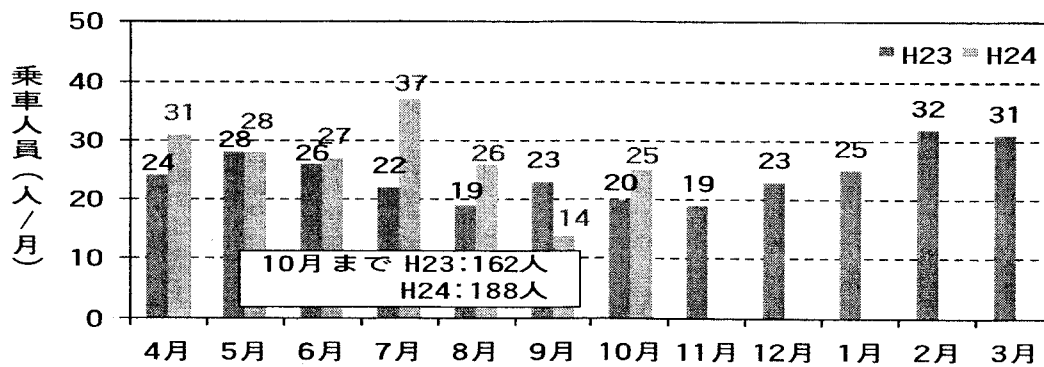


図 乗車人員の変化 (法末方面行)

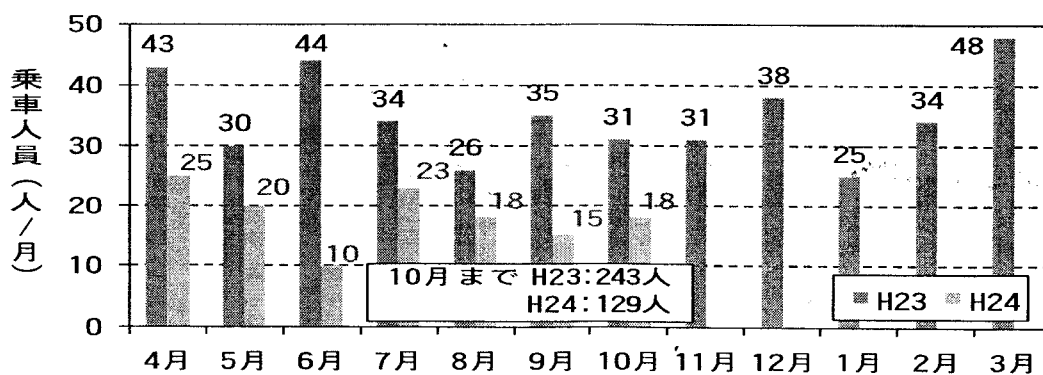


図 乗車人員の変化 (小国支所方面行)

小国地域生活交通 住民アンケート について

■ アンケートの概要

調査対象	小国地域全世帯（1,973世帯）（1世帯に2枚配布）
配布日	平成24年9月21日（金）総代文書により配布
回収期限	平成24年10月9日（火）郵送により回収
回収率	配布数 3,946 票 回収票数 1,239 票（回収率 31.4%=1239/3946） 回収封筒数 767 封筒（回収率 38.9%=767/1973）
設問内容	問1 小国生活交通の利用状況 問2 小国生活交通の必要性・維持について 問3 小国生活交通の予約制の運行について 問4 属性

■ アンケート結果のまとめ

【小国地域生活交通の現状】

- 利用の多くは高齢者で、通院・買い物利用で利用しているが、週1～2回もしくは月1～2回程度の利用者が多く、毎日の利用は少ない。
- 主な目的地は、「小国診療所」「榎沢」「総合センター」という回答が多く、集落間の移動は少なかった。
- 利用した理由について「家族等に頼まなくて良い」という回答が多く、小国地域生活交通が、自主的に外出する高齢者の支援策となっている。
- 利用者の満足度は高い。

【小国地域生活交通に対する経済的支援】

- 小国地域生活交通は、利用の有無を問わずその必要性は高いという認識を持っている
- 今後の運行維持のため、必要があれば経済的な協力をすると回答した住民が多い。

【小国地域生活交通に対する改善要望】

- 要望として、「運行時刻の変更」、「運賃の低下」、「榎沢停留所の接続改善」等がある。
※ 榎沢停留所（小国車庫前）の接続は、平成24年11月から変更している。

【小国地域生活交通の予約制運行（運行方法変更）】

- 予約制の導入は、予約が面倒なので利用しなくなるという回答が多く、利用者を減少させる可能性が高い。